

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 「地域に開かれた学校」を発展させ、保護者や地域の方が学校づくりに主体的に参画し、「地域とともに生徒を育てる学校」の実現を目指します。
- ② より実効性のある学校関係者評価を実現し、教育活動を改善します。
- ③ 保護者や地域の方が、学校の教育活動に積極的に関わることを通して、相互理解を深めたコミュニティスクールを推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

《浜田地区青少年を守る会との共催事業》

5月26日、浜田地区青少年を守る会にお世話いただいて、生まれつきの脳性マヒがあり、足が不自由なため車イスを使って生活している寺田ユースケさんをお招きし、「車イスで、生きていく」～自分らしい生き方の見つけ方～という演題で講演会を開催しました。以前は内気だった寺田さんが、車イスに乗ったことをきっかけに前向きになり、1年間単身でイギリス留学をしたり、車イス芸人をめざしたり、車イスホストをしたりするなかで、様々なことに挑戦しながら前向きに生きることの大切さを学んだこととお話ししてもらいました。また、「車イス押してくれませんか？」と声をかけながら、車イスで全国をヒッチハイクする旅をすることで、障がい者と健常者が互いを尊重しながら、共に生きていくことのすばらしさを感じたことについて、語ってもらいました。



《あいさつ運動と下校見守り活動》

本校では、定期試験発表中の登校時と下校時に、教員の登下校指導に加え、生徒会規律安全委員による「あいさつ運動」を実施しています。また、あいさつ運動期間中に、本校PTA生活環境部の保護者の方にも加わってもらっています。

《花植え活動》

本校の花植え活動は、25年以上も続いている活動です。この活動は毎学期、

学年ごとで行っています。具体的には、プランターに植えられた花で、開花が終わり、枯れたりしおれたりした植物を除き、新しい土壌を加え、季節の花の苗を植えるという活動です。花植えが完了したプランターは、校舎周辺に設置し、生徒だけでなく、来校される保護者・地域みなさんに、やすらぎを与えています。また、その一部に、本校オリジナルの名札をつけて、JR四日市駅に寄贈しています。



《地域清掃（阿瀬知川）》

6月第2土曜日に、生徒会の専門委員会の一つである福祉委員会が中心となり、ボランティアを募り、校区内を流れる阿瀬知川周辺の清掃を行いました。この活動は、10年以上も続く活動です。昨年度までは「阿瀬知川を美しくする会」が中心となり、その取り組みに協力する形の活動でしたが、今年度は「阿瀬知川を美しくする会」が解散したので、これまでの活動を引き継ぐ形で、自治会の方の協力を得て行いました。



《港地区調べ》

本校では、毎年1年生が「港地区調べ」と称して、校区周辺にある企業や事務所を訪問し、施設見学に加え、業務内容、事業所の役割や理念、活動の意義についてお話を聴かせていただいています。今年度は5つのグループ（九鬼産業本社工場、日本トランスシティ、住友電装四日市製作所、国土交通省四日市港湾事務所、四日市税関支署）に分かれ、訪問先で学んだことをグループ別でポスターセッション形式で発表しました。



《浜田地区防災訓練》

昨年度本校を避難訓練集合場所として行った浜田地区防災訓練は、今年度、

浜田小学校を避難集合場所にし、中学生の参加が心配されましたが、3分の2以上の生徒が地区住民の一人としてシェイクアウト訓練から参加することができました。訓練では、避難場所到着後に、中学生が避難経路点検についてまとめ、発表したり、炊き出し訓練のお手伝いをするなど、防災の担い手としての意識の高揚を図ることができました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コミュニティスクールが発足して7年目となり、様々な機会、いろいろな場所で、たくさんの方々に本校の教育活動にご支援・ご協力をいただきました。

上記の実践の他にも、10月18日に校区周辺にお住まいの方、3名にお越しいただき、職場体験の事前学習の一環として、働くことの意義についてお話していただいたり、11月16日に浜田子供諏訪太鼓の歴史について、講演していただいたり、12月6日に中部地区人権教育推進委員会との共催で、人権講演会を開催したりしました。

以上のように、様々な団体や地域の方々と、継続的に連携しながら、現状に合わせて、形式や内容を改善していきながら、教育活動を行っています。「学校一日公開日」とは別に、外部の方にご支援・ご協力いただいた教育活動については公開し、できるだけ多くの保護者や地域の方々に参観していただける工夫をしています。また、直接参観できない方のために、本校のホームページをできるだけ更新し、行事はもちろん、日常の教育活動の様子についても、お知らせするよう努力しています。

このような日々の地道な学校教育活動の積み重ねと学校ホームページ等の情報伝達に加え、10年以上も続く、地域の方々との連携活動により、本校学校教育に対する信頼は増しており、同時に期待も高まっていると感じています。

3 今後に向けて

本校には、次に挙げる二つの課題があります。一つ目は、地域行事に参加する生徒が増えないこと、二つ目は、学校公開日に参観していただく保護者・地域の方々が限られていることです。

一つ目の課題については、前述の地区防災訓練において、学校全体で「地域行事や地域活動の意義」を確認したこともあり、集合場所が中学校から小学校に変わっても、たくさんの参加者がありました。しかし、その他の地域行事については、依然低迷しているのが現状です。学校では、生徒に呼びかけるだけでなく、職員自らも地域行事を知り、参加する中で、活動の意義を再確認することが、課題の解消につながると考えています。

二つ目の課題については、これまでの状況が続いていますが、学校が、参観をお知らせする案内文書だけではなく、事前にメールやホームページで再度、お知らせしたり、準備や活動内容を補足したりして、保護者・地域の方々の興味・関心を喚起しなければいけないと考えています。